

産業廃棄物処理計画書

2023年 5月11日 ✓

那覇市 市長 殿



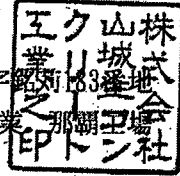
提出者

住 所 沖縄県那覇市字銘苅183番地

氏 名 株式会社 山城生コンクリート工業 那覇工場

代表取締役 山城 正守

電話番号 098-863-8918



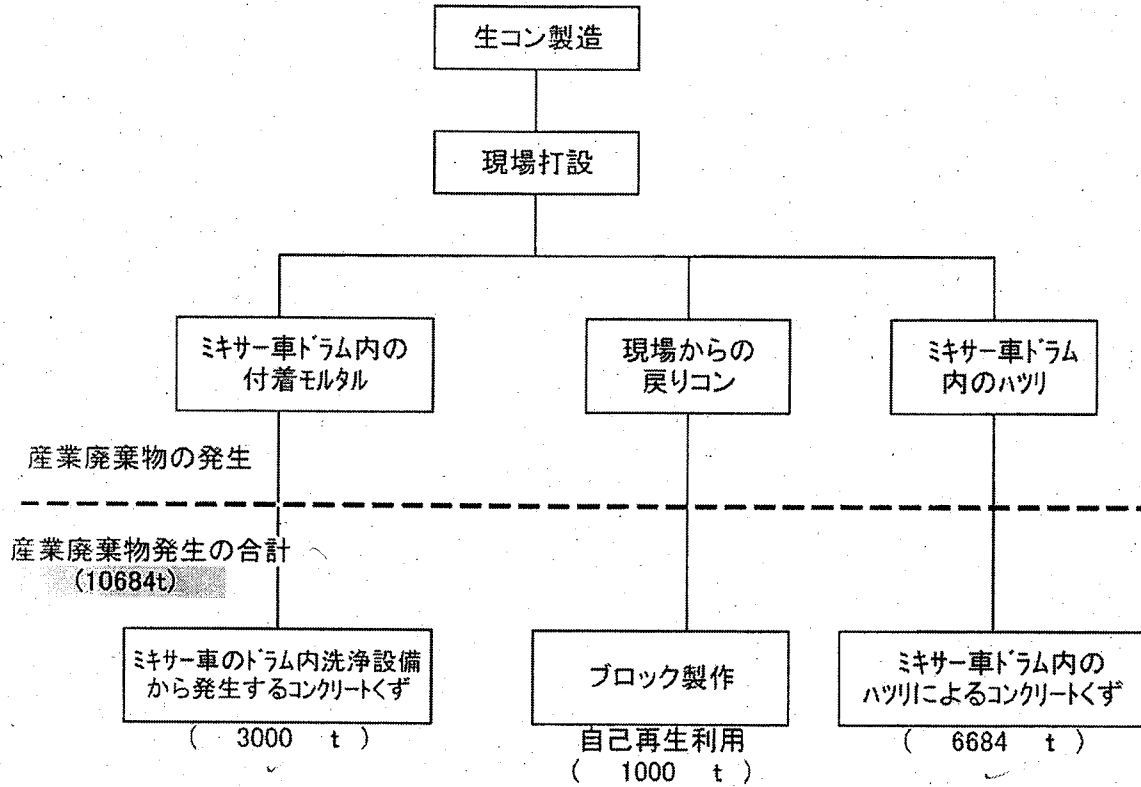
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 山城生コンクリート工業 那覇工場 ✓
事業場の所在地	沖縄県那覇市字銘苅183番地 ✓
計画期間	2023年4月1日～2024年3月31日 ✓
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	生コン製造業 ✓
②事業の規模	81,300 万円 ✓
③従業員数	28名 ✓
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙資料1のとおり

[資料 1]

残コン・戻りコン及びスラッジの減量化と再利用の概要

フローチャート図



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

設備保全担当
 (製造係)
 産廃処理担当
 (試験係)
 事務担当
 (出荷係)

公害防止統括者—公害防止管理者—副公害防止管理者—
 (代表取締役) (工場長) (QC)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度(2022年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	—
	排 出 量	10684 t ✓	—
	(これまでに実施した取組) 戻りコン1000 t/年トンブロックに再利用		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	—
	排 出 量	7743 t ✓	—
	(今後実施する予定の取組) 戻りコン発生低減計画を立案してコンクリートくずを少なくする。 コンクリートくずにおいては前年度計画を継続する ✓		

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	戻りコン	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	1000 t ✓	—
	(これまでに実施した取組) 戻りコンを再生利用してブロック製作を行った。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	戻りコン	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	1000 t ✓	—
	(今後実施する予定の取組) 戻りコン発生低減計画を立案して組織的に戻りコンの発生を抑制する事により減量計画を実施する。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
(これまでに実施した取組)			
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
(今後実施する予定の取組)			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	—
	全処理委託量	9684 t	0 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	9684 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	資源物回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
<p>コンクリートくずは再生路盤材の原料となる。 そのため、再生路盤材を製造している(株)山城碎石鉱業へ処理委託を行っている。</p>			

② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	-
	全処理委託量	6714 t ✓	0 t
	優良処理業者への処理委託量	0 t	0 t
	再生利用者への処理委託量	6714 t ✓	0 t
	認定回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定資源回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>戻りコン発生低減計画を立案して組織的に戻りコンの発生を抑制する事により減量計画を実施する。(前年度計画継続) ✓</p> <p>引き続き発生したコンクリートくずは(株)山城砕石鉱業へ路盤材原料として処理委託を行う。</p>		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。